

京都国立博物館
開館130周年記念
特別展

本州初の
大規模展！

薩摩島津家

Special
Exhibition

SAMURAI LORDS OF SATSUMA
Eight Centuries of the Shimadzu Clan

October 8–December 5, 2027

八百年

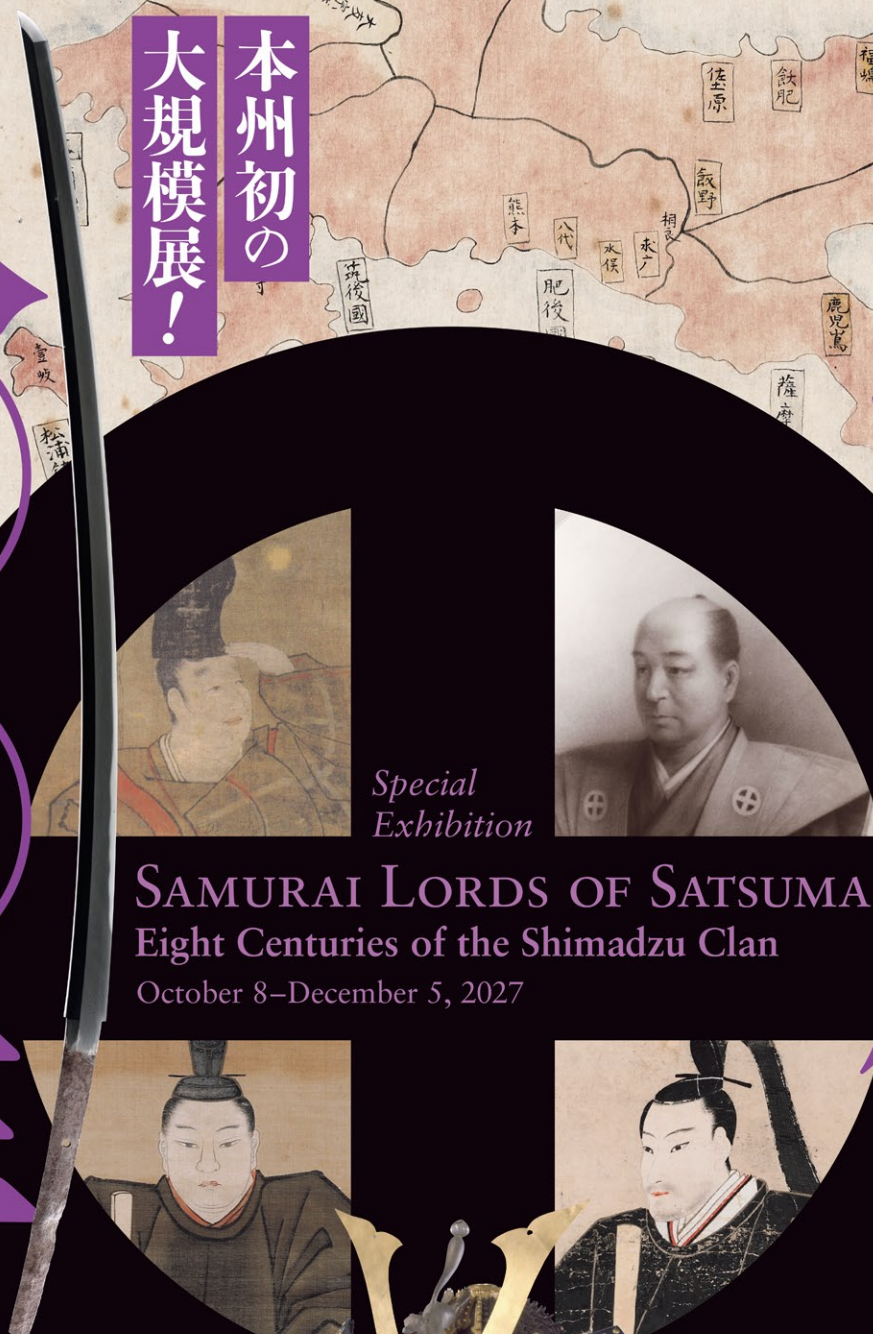


京都国立博物館
平成新館
【東山七条】
KYOTO NATIONAL MUSEUM

2027年
10月8日[金]—12月5日[日]

会場 京都国立博物館 平成新館 ※会期中、一部の作品は展示替を行います。

主催 京都国立博物館、日本経済新聞社、京都新聞 特別協力 鹿児島県歴史・美術センター、黎明館
島津家歴史博物館、尚古集成館、東京大学史料編纂所、都城島津邸 後援 鹿児島県、都城市、都城市教育委員会



武家の名門、八〇〇〇年の歴史を彩る至宝が京都に結集。

薩摩を中心とする九州南部を治めた武家の名門、島津家。戦国時代に同家躍進の一翼を担った義弘や、幕末に薩摩藩の近代化を牽引した斉彬など、歴史の重要局面で鍵を握る人物を多く輩出しました。彼らの先祖は誰なのか、系図を紐解くと、島津忠久という人物が登場します。

一説に、忠久は源頼朝の落胤とも言われ、出生は謎に包まれています。成長すると摂関家、とくに近衛家に仕えました。さらに、頼朝に仕えた忠久は、元暦二年(二八五)、島津荘と呼ばれる広大な荘園の現地責任者に任命され、嘉禄三年(二二七)に没します。以後、子孫たちは元寇を契機として、九州に居を構え、長い時を重ねました。

忠久の没後八〇〇年にあたる令和九年(二〇二七)秋、京都国立博物館ではこれを記念して、島津家の歴史と文化を紹介する特別展を開催します。同家伝来の重宝類、各所に所蔵されているゆかりの品々を京都で一挙公開する、本州初の大規模展となるので、どうぞご期待ください。

島津家のルーツ？ 源頼朝として伝えられる肖像

国宝 伝源頼朝像 京都・神護寺蔵



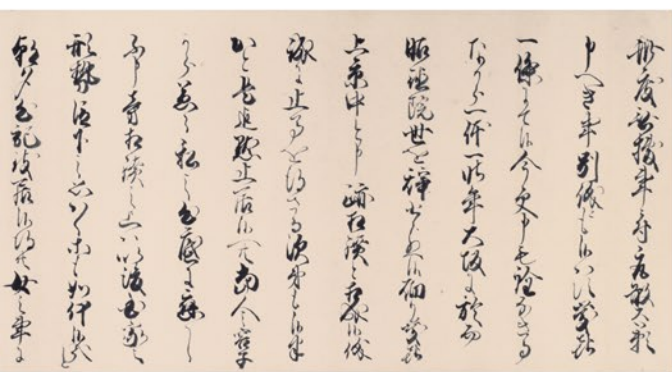
朝鮮国王、漂着民の送還を琉球国王に伝達

重要文化財 朝鮮国書部分 宮崎・都城島津邸蔵



天璋院(篤姫)、西郷隆盛に徳川家の救済を嘆願

天璋院書状(部分) 鹿児島県歴史・美術センター黎明館蔵



薩摩藩、パリで世界に存在をアピール

薩摩琉球国勲章(マンドウール) 鹿児島・尚古集成館蔵



幕末の日本激震！薩英戦争の一大記録

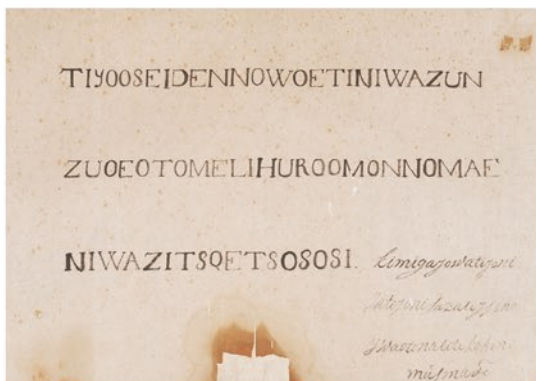
英艦入港戦争図(薩英戦争絵巻(部分) 伝柳田龍雪筆 鹿児島・尚古集成館蔵



蘭学大好き♡

薩摩藩主のローマ字学習メモ

ローマ字 島津重豪筆 鹿児島・尚古集成館蔵



京都国立博物館 平成知新館
KYOTO NATIONAL MUSEUM

京都市東山区茶屋町527

電話=075-525-2473(テレホンサービス)

<https://www.kyohaku.go.jp/>

※開館時間、休館日、観覧料等の情報は、今後展覧会公式サイト等でお知らせします。

※展示作品、展示期間等については、今後の諸事情により変更する場合があります。

公式サイト=<https://art.nikkei.com/shimadzu800/>



表：九州略定図(「薩摩日沿革地図」のうち)※1/重要文化財 太刀 銘 波平行安(号笹寛)※2/紫糸威鑑 伝島津義弘所用※2/肖像画は左上から反時計回りに、武将(伝島津忠久)像※1/島津義弘像※1/島津家久像※1/島津斉彬像 キョツソーネ筆※1

※1：(いづれも部分)鹿児島・尚古集成館蔵 ※2：京都国立博物館蔵